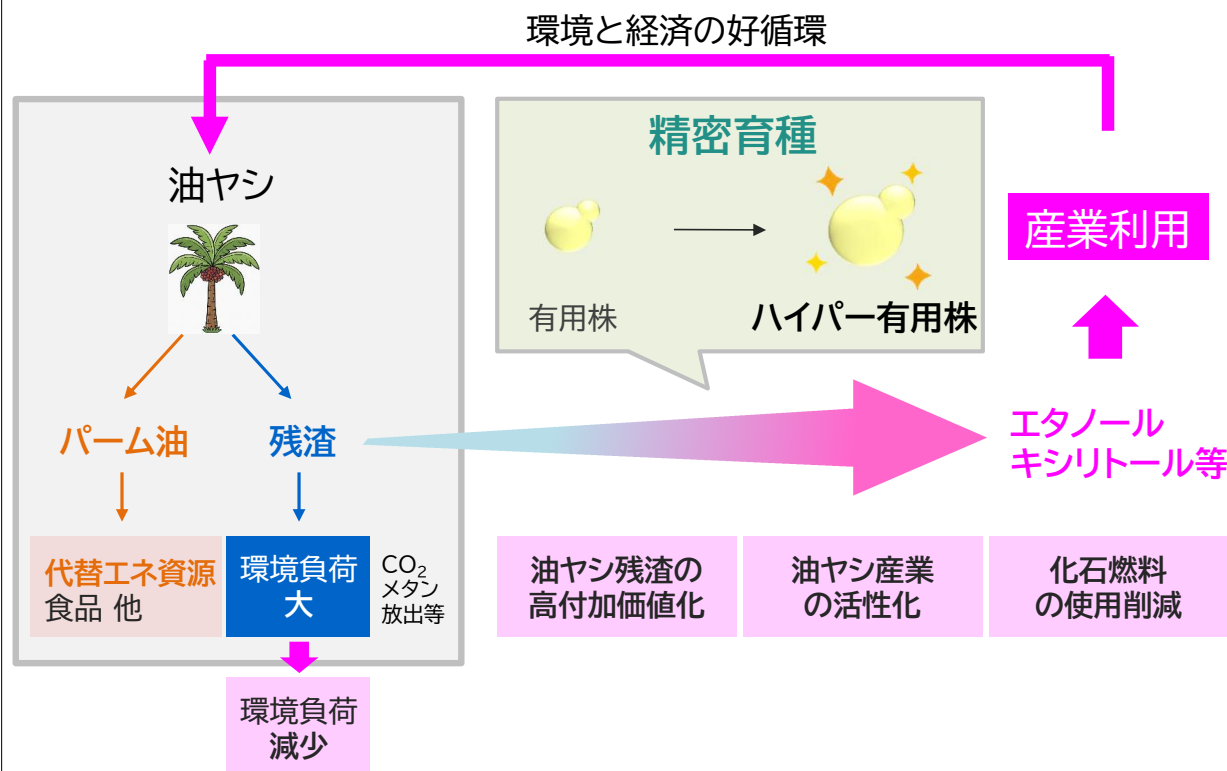


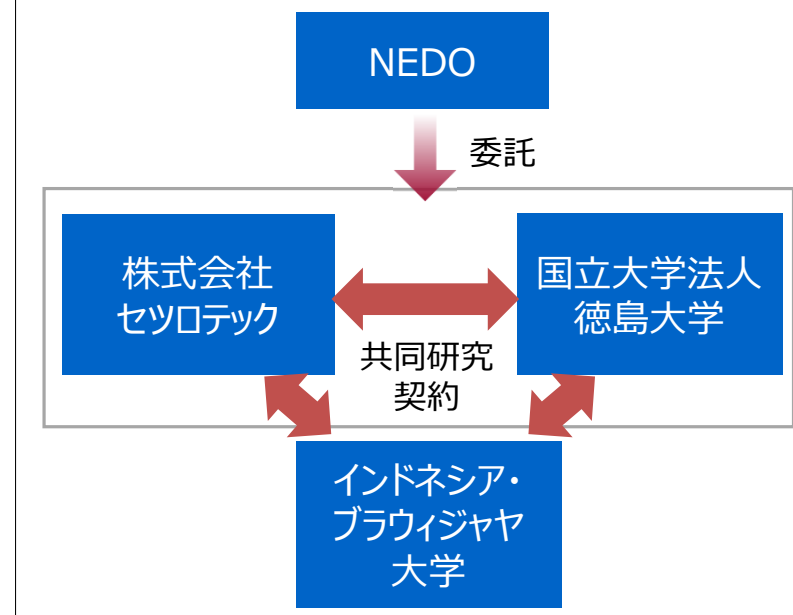
事業概要



国際共同研究の意義

- ・油ヤシ産業世界一の熱帯地域であるインドネシアの地域特性を生かした有用微生物の単離
- ・残渣分解有用微生物単離のスペシャリストである Agustin K. Wardani 教授との国際共同研究
- ・主に単離した微生物株に対し精密育種を施し、さらなる有用株（ハイパー有用株）を作出

実施体制



見込まれる成果

- ・非遺伝子組換え微生物による残渣のエネルギー化で想定されるCO₂削減効果
 - ・CO₂排出削減量 = 50万t-CO₂/年
 - ・森林伐採/泥炭地野焼きの抑制
- ・化石燃料の代替エネルギーとしての効果
 - ・原油換算 = 64万t/年
- ・想定される経済効果
 - ・500人以上の現地雇用創出
 - ・5%の市場シェア率
 - ・他国を含めた油ヤシ農園の拡大